



ショーン
ヨリガン



私が見た北秋田

Kitaakita from My Eyes NO.17

「北秋田市文化祭」

私は中学生の頃から日本の文化や日本語に興味があり、日本を訪れることだけが夢でした。北秋田に住んでみたら、さらに、北秋田の文化を伝えながら、いろいろな人が日本や北秋田の文化に興味を湧くように努力したくなってきました。

北秋田市で英語を教えていて目標にしていることは、一人でも多くの市民が、将来にわたり国際的な宣伝ができるようになることです。教育委員会で仕事をする事になり、直接教える機会が少なくなったので、文化祭で作品鑑賞ができるのは、学校で英語の勉強を頑張っている児童生徒の学習成果を知る貴重な機会でした。



また、合川中学校の廊下や階段、グラウンドが描かれている絵を見ながら、私がALT（外国語指導助手）であった頃を、懐かしく思い出しました。児童生徒にとって、ALTが教室に入ること、より自然で創造性の高い英語に慣れるという良い点があるでしょう。中学生の展示作品の中で、様々な英文が絵の中に創造的に浮かんでいるものがあって、感動しました（写真がなくてすみません！）。



きらっとヒカル
北秋田の企業 Vol. 8



【会社概要】

- ◆所在地 北秋田市上杉字金沢101-54
- ◆主な事業 プレカット加工
- ◆従業員数 22人
- ◆電話番号 0186-78-4257

古河林業株式会社秋田工場

何をしている会社？

住宅用木材製品のプレカット加工を行なっている企業です。プレカットとは、従来大工さんが手作業で行っていた加工を建築現場に納入する前に、工場で「あらかじめ（pre）切断する（cut）」ことを指します。関東圏にある営業所からの自社物件のほか、県内外に加工・納入をしています。

会社のアピールポイントは？

山林経営とともに、住宅建築事業の営業拠点を1都5県に置き「強くて優しい国産材100%の家」として本格木造住宅を手掛けています。林業と住宅業を併せ持つ企業として、総合住宅メーカーとしての地位確立を目指しています。



工場内の様子



プレカット作業の様子

若手社員
の声



水戸 知史さん(21)

私は入社してから4年目になります。工場作業員として住宅の細かな知識まで作業を通じて学ぶことができる環境に身を置き、日々、お客様により良い製品を提供できるように一つ一つ丁寧に加工しています。

平成29年 秋の叙勲・褒章

～長年の功績をたたえて～

平成29年11月3日に発令された、平成29年秋の叙勲・褒章の市内受章者を紹介します。

※年齢は発令時点

秋の叙勲 旭日双光章

なかじま りきぞう
中嶋 力藏さん
(小ケ田・71歳)
—地方自治功労—



平成4年に鷹巣町議会議員に初当選し、以来連続7期22年間にわたり在職し、地域住民と数多くの対話を重ねながら、地方自治の発展に貢献されました。鷹巣町議会では建設水道常任委員長、北秋田市議会では福祉教育常任委員長、企業誘致調査特別委員長など広い分野にわたる要職を歴任しました。また、自ら設置の必要性を唱えた企業誘致調査特別委員会では、雇用拡大と産業発展に向け尽力しました。受章について「多くの人の支援と協力のおかげ。今まで以上に地域のために頑張りたい」と感謝の気持ちを表しました。

秋の叙勲 瑞宝単光章

しばた かずお
柴田 一夫さん
(通り町・71歳)
—消防功労—



昭和43年から45年間にわたり、消防団員として消防業務に使命感を持って従事し、地域の防災体制の充実強化に献身的に尽力されました。平成17年に分団長、19年に支団長、21年に副団長を歴任。19年の豪雨災害では、地元の前田地区が甚大な被害。増水により浸水被害のおそれがある地区を巡回させ避難指示・誘導するよう指示したことで、地区から犠牲者が出ることを未然に防ぎました。受章について「まさか自分がという気持ちですが、とてもうれしい。良い先輩と良い部下、家族のおかげで今の自分がある」と感謝の気持ちを表しました。

秋の叙勲 旭日単光章

はたけやま よしこ
畠山 好子さん
(花園町・71歳)
—生活衛生功労—



岐阜県内の美容室で7年間修業後、昭和44年に故郷に戻り、23歳で美容院「サロン・ド・ローマ」を開業。現在まで48年間にわたり、一美容師として、また美容院経営者として活躍し続けています。この間、秋田県美容生活衛生同業組合北秋支部長、理事、平成11年には副理事長に就任。主要大会の実行委員長として継続開催に尽力したほか、着付講習会では高度な技術を後進に教授するなど、本県の美容技術向上と後進の育成、業界の発展に貢献しました。受章について「組合や家族、従業員の皆さんのおかげ。本当に皆さんに助けられた」と語りました。

秋の褒章 黄綬褒章

きたばやし かずしげ
北林 一成さん
(米内沢大町・60歳)
—業務精励(建設業)—



昭和56年に家業の秋田土建株式会社に入社し、同58年から代表取締役役に就任。地域に根ざした企業を目指し、人材育成や地域貢献に尽力されました。この間、北秋田建設業協会会長、秋田県建設業協会副会長、全国土木施工管理技士会連合会副会長などの要職を歴任され、業界の融和と協調に努めました。また、北林道場や米内沢スキー場の運営により、子どもたちのスポーツ振興にも貢献されました。受章について「大変光栄であり、今後とも会社の総合的な信用を高め、地域に貢献していきたい」と語りました。